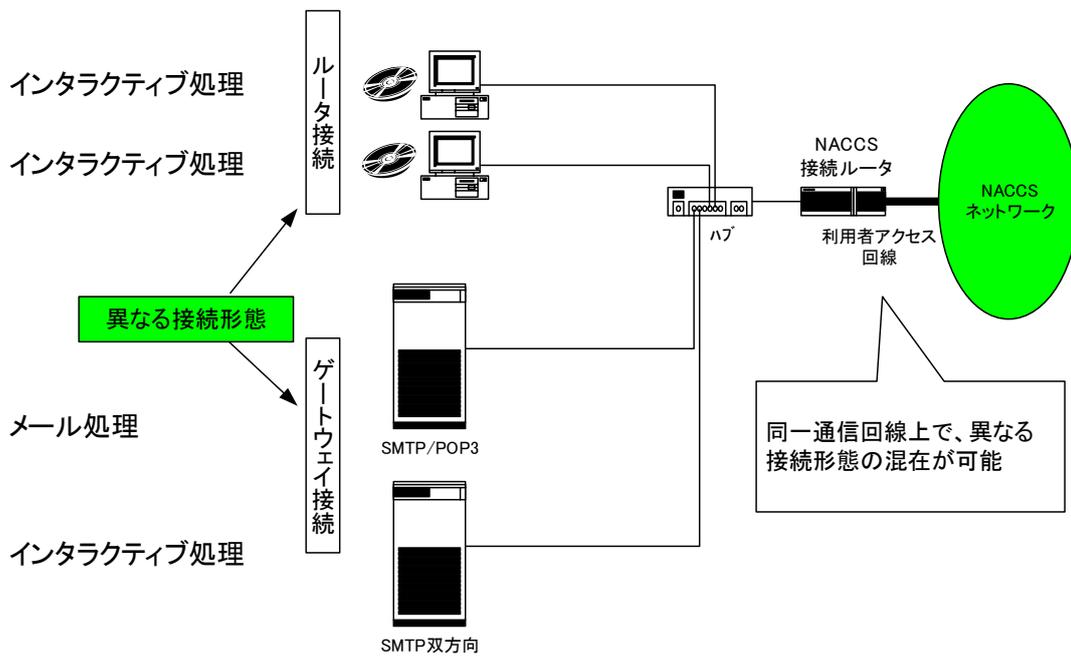


## 付録 2. データ送受信処理方式及び接続形態が 混在した場合の接続の具体例

## 付録2 データ送受信処理方式及び接続形態が混在した場合の接続の具体例

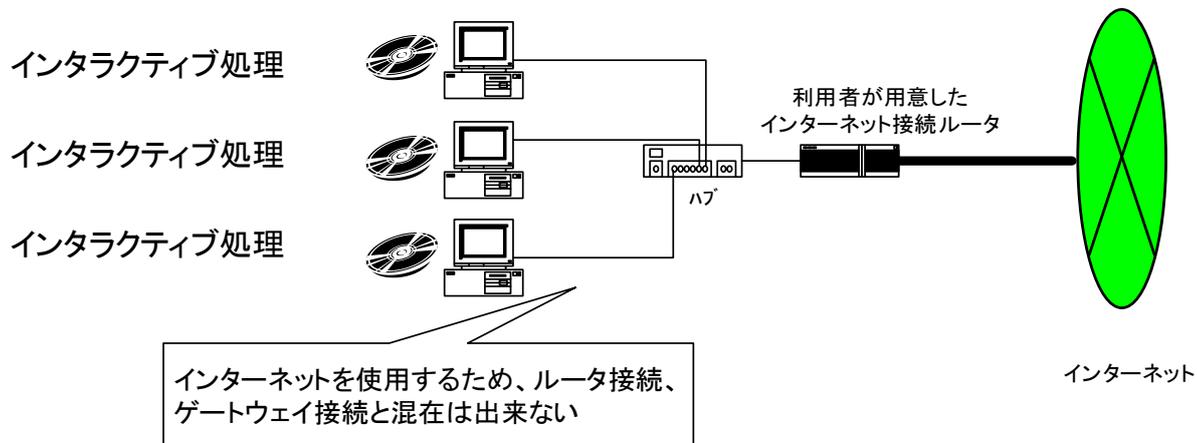
NACCSでは、同一通信回線上で異なるデータ送受信処理方式（メール処理方式、インタラクティブ処理方式）及び、異なる接続形態（Peer to Peer接続、ルータ接続、ゲートウェイ接続）を混在させること等が可能である。

### パターン1：同一通信回線上で異なる接続形態を利用



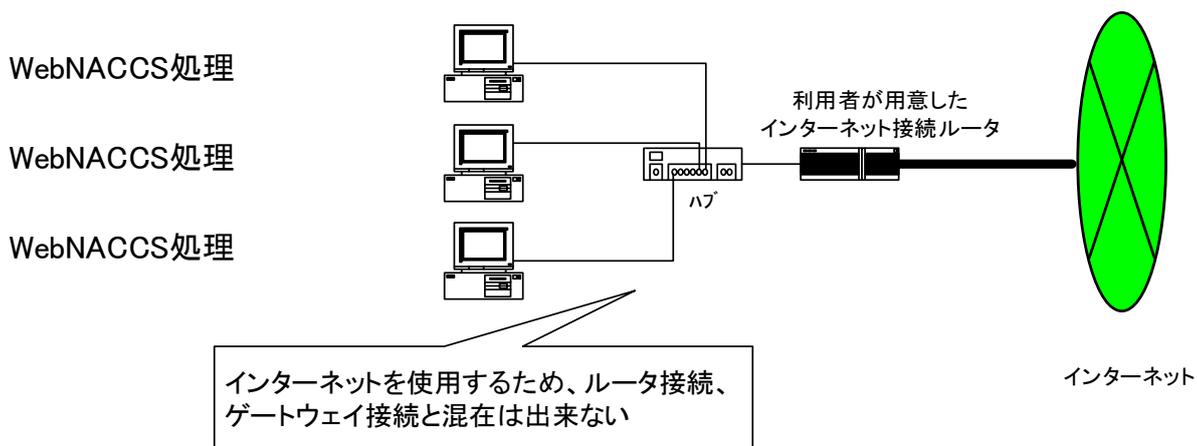
付図2-1 同一通信回線上で2つの異なるデータ送受信処理方式及び異なる接続形態を利用

パターン2 : netNACCSを利用



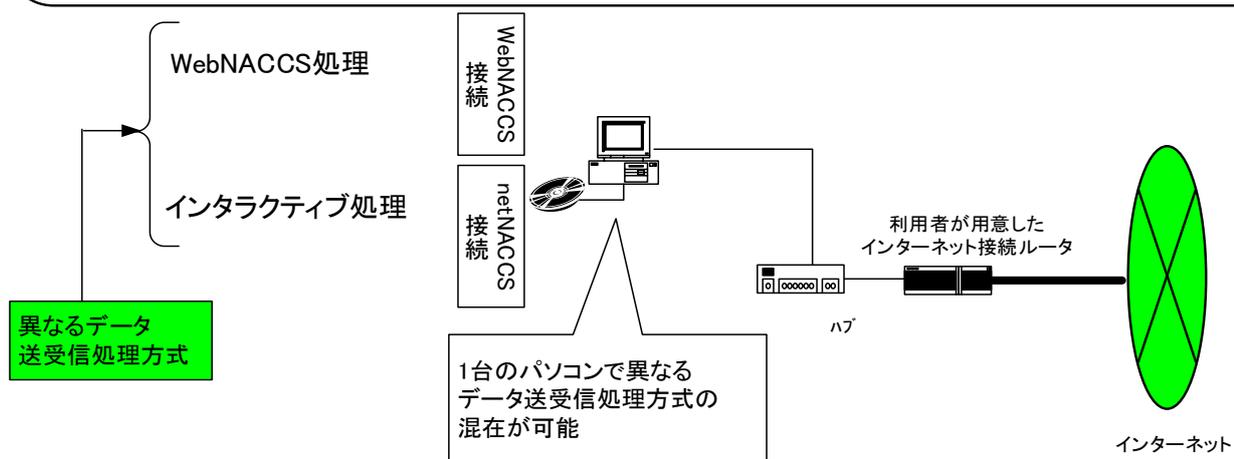
付図2-2 netNACCSを利用

パターン3 : WebNACCSを利用



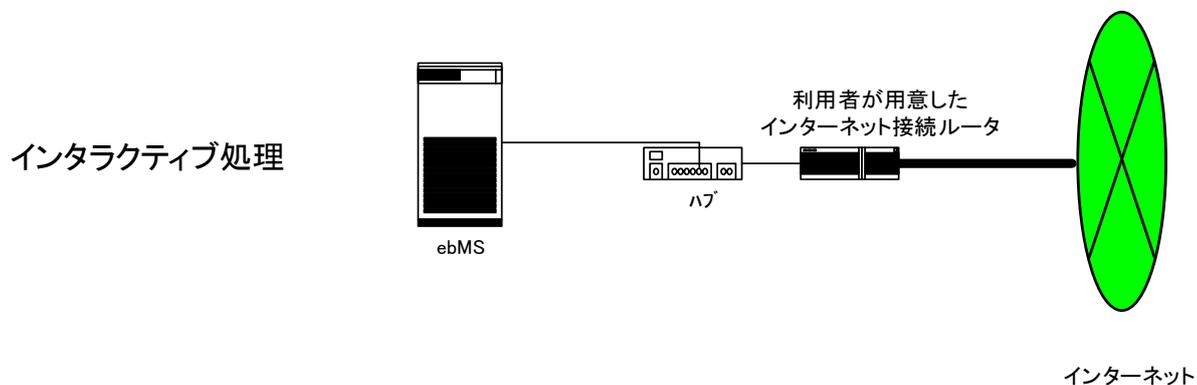
付図2-3 WebNACCSを利用

パターン4：1台のパソコンで2つの異なるデータ送受信処理方式を利用



付図2-4 1台のパソコンで2つの異なるデータ送受信処理方式を利用

パターン5：ebMSを利用



付図2-5 ebMSを利用